

令和 7 年度 1 学期終業式式辞

おはようございます。まずは本日、大過なく 1 学期の終業式を無事に迎えることができました。大変嬉しく、そして、生徒の皆さん、先生方、保護者等の皆さんに感謝の意を表します。あわせて、急なリモートの終業式に対応いただきました先生方にお礼申し上げます。

皆さん、1 学期を振り返ってみてください。学校行事では、校外学習や明南祭などがあり、クラスや年次等で楽しい思い出がたくさん創れたのではないのでしょうか。また、部活動では明南祭で近畿大会出場の壮行会をしましたウエイトリフティング部が男女アベック優勝、本校としては 26 年ぶりに出場となった男子バスケットボール部も頑張ってくれました。このあと、ウエイトリフティング部の全国インターハイ、水泳部の近畿大会の壮行会もあるようですが、その他、全てのクラブについてもよく健闘してくれました。特に 3 年次生は最後の公式戦や発表会をやり遂げ、結果はともかく、好きな部活動を部員の仲間たちと最後までともに戦い抜き、仲間の大切さや勝負の難しさなどを実感したことと思います。この経験は、これから社会に出た時に、将来に向けてきっと役立つ時がやってくる。また、帰宅後でも良いので、皆さん、一人でゆっくりと校内外問わず、1 学期を振り返る時間を必ず持ちましょう。

さて、今日は皆さんにキャリアについて考えてもらいたいと思います。一昔前は一つの仕事を生涯かけて勤めることが世間一般的な風潮でした。しかし、現在、転職の時代とも言われ、新卒 3 年以内の離職率は大学で約 4 割、高校で約 3 割と増加傾向にあります。皆さんは「キャリアドリフト」という言葉を聞いたことがありますか？この理論は神戸大学の金井壽宏 名誉教授が「自分のキャリアの道筋を詳細に決めることはせず、時には起こる変化を受け入れ、自然に身を任せながらキャリアを歩んでいく考え方」を提唱したキャリア理論のひとつです。

そもそもキャリアとは何でしょう。キャリアと聞けば、職業や経歴などを想像するでしょう。それも正解ですが、職業や経歴に限定せず、現代ではキャリアは仕事だけに継続するものではなく、人生そのものとして、仕事と家庭生活、自己実現、健康など、多面的な視点からの充実を含むものとしても認識されています。

そんな人生そのものであるキャリアは、進学や就職といった大きな変化を伴う節目での決断と同時に目標の見直し、再設定を行い、中長期的なキャリアを主体的にデザインしています。しかし、キャリアを歩んでいく中で、特に節目がない時期にもキャリアの方向性に固執するのではなく、予期せぬ偶然の出来事や出会いも柔軟に受け入れ、状況に流されてみる必要があると金井名誉教授は唱えています。また、自分のやりたいことや将来像を深く考え、キャリアを創造していくキャリアデザインと金井名誉教授のキャリアドリフトは表裏一体で敢えてデザインしないことが結果的にキャリアの幅を広げることにつながる、とも言われています。

つまり、主体的に中長期的な計画を立て、実行していきながら、節目と節目の間に訪れる予期せぬチャンスにも乗っかってみるという生き方を目指していくということです。この 2 つの考え方は相反するものでは

なく、その両方を繰り返すことで柔軟かつ理想のキャリアに近づいていくということにもなります。人生計画通りに行かないこともあります。そんな時に向き合い方や視点を変えてみるのも大切です。変化の激しい昨今、20年、30年先の将来まで見通した上で、キャリアを考えていくのは難しいことかもしれませんが、是非、この夏休みを利用して、この2つの考え方を模索してください。一度、立ち止まって、深呼吸して流される勇気も必要です。

それから、この夏休みに少し気にかけてほしいこと、行動に起こしてほしいを伝えておきます。一つ目はこの8月15日に終戦80年を迎えるということです。過去の歴史を正しく理解し、これから日本の平和維持活動について考える機会にしてみてください。二つ目は、学校行事としては取り扱っていませんが、史上初めて四方を海に囲まれた人工島で開催されている2025年日本国際博覧会、いわゆる大阪・関西万博に足を運んでみてください。新たな発見があるかもしれません。三つ目は特に3年次生以外は直接的に関わりがないことかもしれませんが、明後日に投票される第27回参议院議員選挙に行って投票するようにお願いします。是非、家族や友人と一緒に投票所に足を運んでください。

皆さんにとって、この夏休みが夢や進路の実現にむけて有意義なものとなることを期待しています。いつものお願いとなりますが、自他ともに命を大切にしてください。特に、登下校中の自転車乗車中の事故は被害者にもなり、加害者にもなります。ヘルメットの着用にも努めましょう。そして、熱中症等に気をつけて、健康第一で生活しましょう。

最後に本日、帰宅したら通知表とともに、いつも支えてくれた家族に対して感謝の言葉を添えてください。9月の始業式には元気で成長した、たくましい姿での再会を楽しみにして、1学期終業式の式辞とします。

令和7年7月18日

学校長